



作ってみたいターンスのターンス

M「そして今年も毎年恒例『年末年始、〇〇しよう』の季節がきました。今年は冬休みにナニかを作っていたadakimashouyokane。」

F「2019年2月号でやっているテーマですね。そしてなんと遡ればホンダラケ創刊号のテーマでもあったと」

T「伝統的なテーマなんですね…」

M「…いや、そんなに深く考えていないはず。『工作系の本があるけど、これって本当に作れるの?』という素朴な疑問から発生したのよ。あらあらTちゃんてば、その手に持っているのは、異世界転生者グッズの本ね?作るのね?そうよね?」

T「…あ、えっと作れそうなのはこれくらいしか…」

F「作るための素材がそもそも入手できるのでしょうか。ミョウバンある?」

T「…探します」

M「Fさんは何を作る?ある日のとある事件から私に不器用レッテルを貼られてしまっていますが、これは名誉挽回のチャンスよ〜」

F「今回、私はちゃんとできるところを証明したいと思っています。まず手始めにコレを作ってみました。レース切り絵の猫とウサギです!」

M「おお!!すごいじゃない!上手にできてるわよ!猫可愛いわね〜。…えーっとこっちのはネズミだっけ?」

F「ウサギです」

M「…ウサギを作ろうとして、耳失敗した?」

F「違います!!お手本通りです!ほらっ」

M「…あ、ほんとだ。ごめん。ウ、ウサギさん、可愛いわね〜。ね、Tちゃん、ね?」

T「は、はい。可愛いです。Fさん上手です」

F「私だってやればできるんですっ。そしてMさんは何を作成されますか?前は段ボールの自販機でしたけど」

M「そりゃアナタ、巻頭で紹介しているチキンよ。」

F「…チキン」

T「…骨格」

M「とりあえず素材集めにケン〇ッキーかな」



←QRコードでも
アクセスできます

インスタグラム公開中 ここにアクセスしてね★

<https://www.instagram.com/hondarake55>

ホンダラケ

2022.12.1

年末年始はつくるのだ!

作る・創る・造る…つくるといっても工作とは限らないよ。
おはなしつくろー 友達つくろー さて、何つくる?

『作ろう!フライドチキンの骨格標本』

志賀健司/著 江田真毅・小林快次/監修 緑書房 2022年刊



488.1/22

クリスマスに大抵の人は食べるであろう、あのチキン。普段は食べ終わったら捨てちゃうホネだけど、見方を変えれば骨の仕組みや進化の秘密が詰まった貴重な標本なのです!美味しくいただいた後は、きれいに除肉して、脱脂処理して、組み立ててみよう。処理に必要な薬品は、ドラッグストアで手に入るものばかりだし、扱い方もきちんと書いてあります。完成した後の台座やプレートも手作りしたら、そのクオリティの高さに自分でうっとりできそうです。こっそり博物館に置いてもバレないかもよ。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA(ヤングアダルト)コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「音楽」
さてさて、どんな音色が聞こえてくるかしら♪

『革命前夜』 須賀しのぶ／著 文藝春秋 2015年刊

舞台は冷戦真っ只中で東西に分断されたドイツ。そんな物寂しい状況でも、ピアノ留学生が集まる。いつスパイに密告されえるか分からない状況で、主人公は様々な状況下の天才達と出会い鬱々たる時代をひたむきに生きる。冷戦時代の人々のリアルな感情や今にも聴こえてきそうな演奏描写に注目してほしい。

P.N. えあふい(高校2年生)



F/スガ

「こんな本、棚から見つけました」のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介しします

『中高生のための「かたづけ」の本』

杉田明子・佐藤剛史／著 岩波書店 2014年刊

誰ですか？机をプリントやら参考書やらの物置きとして
いるのは。誰ですか？床の上にカバンやら服やら置きっ
ぱなしにして足の踏み場をなくしているのは。私です。と
いうかたにこそ、読んでいただきたい一冊です。
今までかたづけはできて当たり前、できないとだらしな
い、と自分を責めていませんか？それはもうやめ
ましょう。この本は、かたづけの手順を一つずつ示してく
れています。そう、かたづけには方法があるのです。さ
あ、この年末年始、かたづけの方法を知って居心地のいい
部屋にしましょう。勉強もきつとはかどりますよ★



597.5/14

新着図書 Pick Up

『はじめての動物地理学』

なぜ北海道にヒグマで、本州はツキノワグマなの？』

増田隆一／著 岩波書店 2022年刊



482/22

動物地理学って——？「どこにどんな動物が分布している
のか」また「なぜそこにいるのか」を解き明かす分野のこ
と。世界中を探しても特定の場所にしかない動物ってい
ますよね。「コアラはオーストラリアにしかない」みたい
に。この本を手にとれば、そんな不思議の答えに近づける
かもしれません。

生息の分布の始まりはいつ？なにがあって今いる場所にた
どり着いたのか。読み進めるほど、発見の多い一冊です。

難しいと思われているけれど、実は面白い
名作があるから読んでみてほしいんです。

『古事記 日本の古典をよむ1』

山口佳紀・神野志隆光／校訂・訳 小学館 2007年

「古事記」と書いて、「ふることふみ」とも読めるんだとか。なんだか
「こじき」よりもやわらかい響きに感じませんか？そんな古事記は
「現存する日本最古の歴史書」として有名。この本には、序文・上・
中・下巻から成る古事記が一冊にまとめられ、訳されています。

いざなぎのみこと いざなみのみこと あまてらすおみ
伊耶那岐命や伊耶那美命、天照大神などが登場する有名
な日本神話の原文が読みやすく書かれているほか、飛鳥時代ごろ
までの実在した天皇についても記されています。日本神話の魅力
に目を向けてみるのも、楽しいですよ。



918/シヨ